

「豊」かで「和」やかな 豊和

豊和 おひさま だより

旧「豊和村づくり通信」



夏休み「子ども教室」。初めてのグランドゴルフを体験しました。



2022 夏休み「こども教室」

「ゼロカーボン匠瑳推進協議会」に参加しました

豊和小学生が稲刈りを体験

黄金の稲穂をザックザク!?

新しい「村づくり基金」協力事業者のご紹介

みんエネ16号機『ロンハーマン匠瑳支店 No.2』開店！

豊和にかよった人 平井 ○○○さん

ソーラーシェアリングの「分かち合い」で豊和を元気に！ **豊和村づくり協議会**

<https://www.toyowa-village.org/>

2022 夏休み「こども教室」



「小学校が休みの時にもこどもを見てくれる場所があるといいな」というパパ・ママの思いから昨年生まれた夏休みの「こども教室」。冬休み、春休みと続き、今年は二回目の夏休み。これまでで一番多い18人が延べで176人参加しました。



登校して最初は時間を決めて宿題をやりま
す。わからない所は指導員の先生やスタッ
プがサポート。上の子が下の子に教えるという、
学校では見られない光景もありました。



勉強が終わると楽しい「自由時間」。暑
さにもめげずに外で虫や蝉取りに夢中にな
ったり、トランプやゲームをしたり。こ
こでも上の子が下の子の面倒を見る「こ
どもの社会」が生まれていました。



野鳥の話やピアノ演奏、手芸や造形教室、民話や藍
染など、週1～2回の体験活動は、貴重な経験です。
特に、琴はこども達には初めてのことで、最初は慣れ
ない手で恐る恐る触れていましたが、最後には演奏が
できて嬉しそうでした。初めてのおじいちゃん達との
グランドゴルフも楽しんでいました。



「ゼロカーボン匠瑳推進協議会」に参加しました

地球温暖化が急速に進む中、脱炭素社会の実現は世界的課題であり、日本も2050年までにその実現をめざしています。そのために、地方に「脱炭素先行地域」を100ヶ所選定し、そこに資金を集中的に投入としています。民間で結成された「ゼロカーボン推進協議会」と連携し、匠瑳市も「脱炭素先行地域」への申請を進めています。

クリーンな再生可能エネルギーの自給で地域循環型経済を確立し、自然環境の保護と地域の活性化をめざします。

脱炭素で匠瑳を元気に！

ゼロカーボン匠瑳推進協議会

URL: zero-carbon-sosa.org



豊和小学生が稲刈りを体験

黄金の稲穂をザックザク!?

5月に豊和小学校5年生の皆さんに植えてもらった稲の赤ちゃんたち。9月12日、たっぷり稔って黄金色の稲穂の頭を下げながら、たんぼに戻ってきた5年生の皆さんを迎えてくれました。

安全な稲刈り鎌の使い方をしっかり習ってから、皆さん、最初はたどたどしく一株の稲を刈るの一苦勞、10回も鎌を上下させていましたよ。

でもすぐにコツをつかんであちこちで「ザクッ！

ザクッ！」と小気味よい音を響かせていました。そのあまりの手際の良さに、刈った稲を結わえる大人たちが「稲刈り職人の皆さん！ お願いだからもうちょっとゆっくり刈って！」なんてあわて



て声をかける場面も。

最後は皆さんにも結わえるのも手伝ってもらって無事に終わらせることができました。頑張って自分たちが育てた稲だから落穂の1本まで大事に大事に拾ってくれました。

帰り道、お米づくりの大変さと楽しさを体験して、誇らしげに胸を張る5年生の皆さんの後ろ姿が朝よりも少しだけ大きく見えたのは気のせいだったでしょうか？



刈り取った稲は、昔懐かしい足踏み式の脱穀機で丁寧に脱穀され粳になりました。

新しい「村づくり基金」
協力事業者のご紹介

みんエネ16号機

『**ロンハーマン匠瑳店 No.2**』 開店！



ロンハーマンの協力で建設された市民エネルギーちばの16番目の設備です。

この電気は、ロンハーマンの店舗に供給（バーチャル）されています。更に2設備を建設する予定とのことで、Re100の店舗をめざしています。



豊和にかよってきた人

2021 年から Sosa Project の田んぼ体験を経て、現在東京都足立区と飯塚の間で2拠点移住ををされている平井 朗さんと平井 有希子さんに伺いました。

Vol.3 ひらい あきら ひらい ゆきこ
平井 朗さん 平井 有希子さん

●プロフィール

平井 朗：兵庫県出身 ドキュメンタリー制作、国際協力専門家を経て、立教大学で教えていた頃、高坂さんが営んでいた池袋のオーガニックバーで彼と意気投合し呑んでくれていた、脱開発主義をめざす平和学研究者。

息子が高坂さんに張り付いて実習？させて頂いたのを期に、自分らもMy 田んぼ 2021 を開始。その勢いで半農半 X をめざしつつスバルサンバーを駆る、まだ二拠点の軟弱者。

平井 有希子：東京都足立区生まれ。若い時は海外、都会志向だったが、子どもが生まれてから、食べ物、環境に関心が向き、いつか田んぼをやってみたいと思う。銀行に勤めながら社労士資格を取り、独立。息子が大学夏休みに高坂さん宅でお世話になったご縁で、My 田んぼ 2021 に参加。

これから過ごす時間を大切にしたいという思いで、「半農半 X」にライフシフト。



●豊和に来たきっかけは？

直接的には上記のようなわけですが、自分らで作った米の美味しさ、大豆が豊かに殖えることに感動して、これからは「やるしかない」と思ったことでしょう。

●豊和に来た時の印象は？

虫や鳥の音が身近、空が広いと感じました。

●2022年の田んぼはいかがでしたか？

My 田んぼの倍なので田植え、草取りは大変でした。オダ掛けした量は豊作っぽいですが、二番穂も多く脱穀するとどうでしょうか。来年は正条植をきっちりやって田車を導入したいと考えています。

●豊和にかよって、良かったことや

自分自身に気づいたことはありますか？

田植え後のひよひよ、緑のじゅうたん、稲刈り前の金色の稲穂、どれも本当に心を癒してくれます。肉体労働はきついこともありますが、都会でコンピュータに向かう労働とは全く違う充実感。何といっても終わった後のビールが美味い！また、大家さんやご近所の方々に本当に良くして頂いて、来る前は少し不安だった世間の狭さが、地域の助け合いの中に解消されているのが感謝と喜びです。



●匝瑳市内へ移住を決めたことについて

まだ東京でも働く二拠点ですが、現在こちらで暮らす家が見つけたことが大きな決め手だったと思います。果樹一杯のお庭もさることながら、裏山の畑からの田園の眺めが気に入りました。

これから、さらにこちらの暮らしを充実させるべく、家や環境に手を入れ、またご近所さん、移住者の皆さんのコミュニティともお付き合いを深めていくことを楽しみにしています。

●これからやってみたいこと

裏山の畑が未だ手つかずなので、これから冬の間に上がるための道（階段）を整備、眺めを遮り始めた竹の伐採、等々を行い、まずは自家製味噌原料としての大豆の栽培からか。この畑から遠くを眺めながらビールも飲みたいし。

後は、リモートワークのためのネット環境を整備し、当地で過ごす時間をより長く快適にしたいと考えています。



庭の植物の手入れ法が分からないので教えてください！